

院内御廟 会津藩主松平家墓所

国史跡 福島県会津若松市東山町石山
所有者 会津若松市



会津藩主松平家墓

(あいづはんしゅまつだいらけぼしよ)

明暦(めいれき)3年(1657)保科正之(ほしなまさゆき)の長男正頼(まさより)の墓をこの場所に定めたのが最初です。以後9代、松平容保(まつだいらかたもり)までの墓所となりました。区域の南東部には、保科正之と同属の西郷家の墓地となっています。初代保科正之の墓だけは、猪苗代町の土津(はにつ)神社となっています。墓所の墓は、2代目と奥方の墓は仏式ですが、他の藩主は神道により祀(まつ)られています。中国の思想(しそう)で北の守り神の玄武(げんぶ)(亀石(かめいし))の上に、功績を書いた碑石(いしぶみいし)が乗せられています。その奥に、名前を記した表石(おもていし)があり、その奥に八角形に作られた墓の鎮石(しずめいし)があります。墓は、石と石灰(せっかい)に囲まれた棺(ひつぎ)が埋葬されていると考えられています。亀石や表石、鎮石は、会津若松市河東町の北山石(きたやまいし)を使用しています。北山石はソリの修羅(しゅら)に乗せて運んでいます。亀石の運びかけで放置された石が河東町に残されています。

会津松平家累代

- 初代 保科正之(ほしなまさゆき)
- 2代 將軍徳川秀忠(とくがわひでただ)4男(猪苗代の土津神社に埋葬)
治世26年間 土津神霊(はにつしんれい)
- 二代 保科正経(ほしなまさつね)
正之4男(仏式で埋葬)治世は13年間
鳳翔院殿(ほうしょういんでん)
- 三代 松平正容(まつだいらまさかた)
正之6男 治世は51年間
徳翁(とこお)神霊
- 四代 松平容貞(まつだいらかたさだ)
正容8男 治世20年間
土常(つちとわ)神霊
- 五代 松平容頌(まつだいらかたのぶ)
容貞長男 治世56年間
恭定(ゆうしづ)神霊
- 六代 松平容住(まつだいらかたおき)
容頌2男 治世5ヶ月間
貞昭(すみてる)神霊
- 七代 松平容衆(まつだいらかたひろ)
容住長男 治世17年間
欽文(あきさと)神霊
- 八代 松平容敬(まつだいらかたたか)
養子 治世31年間
中恭(まさお)神霊
- 九代 松平容保(まつだいらかたもり)
養子 治世17年間 忠誠(まさね)神霊

中国の儒教では、北の守りが玄武、
南が朱雀、東が青龍、西が白虎でした
文責 石田明夫